

令和6年度

# 日立市教育研究会

## 生活科・総合的な学習の時間研究部指導案集



日立市教育研究会 生活科・総合的な学習の時間研究部

## 指導案集の発行にあたって

情報化やグローバル化の進展、人工知能（A I）の飛躍的な進化、絶え間ない技術革新等により、将来予測困難な時代を生きる子どもたちは、多様な人々と協働しながらさまざまな社会の変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることが求められています。そのためには「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていく」「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく」といった生活科・総合的な学習の時間で育む資質・能力がとても重要です。

令和3年度の答申で示された「個別最適な学びと協働的な学び」では、一人一人に応じた学習活動を充実するとともに、ともに学ぶことでより個人の学びの質を高め、同時に集団の質も高めていく学習活動を展開することが求められています。これは、今まで生活科や総合的な学習の時間で重視してきた学習活動が、他教科に広がったと言えます。

昨年度は、「第25回関東地区小学校生活科・総合的な学習の教育研究協議会 群馬大会」に市内の生活・総合的な学習の時間教育研究部員を中心にオンラインの参加をしました。研修では、『①新しい時代に求められる資質・能力を生活・総合の時間を通してどのように育成するか明確にすること ②「整理・分析」「まとめ・表現」を意識した探究のプロセスを改善し、資質・能力の向上を図っていくこと ③学校全体で育てたい資質・能力と発達段階や各教科等との相互の関わりを意識した全体計画の作成すること』などについて学ぶ機会となりました。今年度、夏季指導法研修会で各学校の総合的な学習の時間の取組について情報共有をすると、上記の研修を自校化している学校がありました。生活科や総合的な学習の時間は、専門の教科としての免許状がないこともあり、毎年各学校で部員がかわることも珍しくありません。若い先生方も多く、改めて研修の機会を確保することの必要性を痛感いたしました。是非、先進校視察等の機会があれば、それを生かしてほしいと思います。

今後も、人と人との交流や本物に触れる体験を大切にしてきた生活科や総合的な学習の時間においては、あらたな工夫をもって、先生方で情報交換をしながら、よりよい授業づくりに努めていければと思います。

最後になりましたが、「令和6年度 生活科・総合的な学習の時間研究部指導案集」が、南部地区の先生方のご協力のもと発行できますことに、深く感謝申し上げます。この指導案集が、各校のさらなる充実した授業づくりにご活用いただければ幸いです。

令和7年2月

日立市教育研究会生活科・総合的な学習の時間研究部  
部長 木村 央

## 日立市教育研究会

### 生活科・総合的な学習の時間研究部指導案集 目次

#### 【小学校】

- 1 日立市立水木小学校 . . . . . 1-1
- 2 日立市立大みか小学校 . . . . . 2-1
- 3 日立市立大沼小学校 . . . . . 3-1
- 4 日立市立金沢小学校 . . . . . 4-1
- 5 日立市立久慈小学校 . . . . . 5-1
- 6 日立市立坂本東小学校 . . . . . 6-1
- 7 日立市立河原子小学校 . . . . . 7-1

#### 【中学校】

- 1 日立市立台原中学校 . . . . . 8-1
- 2 日立市立久慈中学校 . . . . . 9-1
- 3 日立市立坂本中学校 . . . . . 10-1
- 4 日立市立泉丘中学校 . . . . . 11-1
- 5 日立市立河原子中学校 . . . . . 12-1

1 単元名 もっと なかよし まちたんけん

2 単元の見積

- 地域の人々に関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くことができる。 (知識及び技能)
- 地域の人々に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり、働いたりしている人々について考えたり、自分たちとの関わりを見付けたりすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 地域の人々に関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生活したり働いたりしている人々やさまざまな場所が自分たちの生活を支えていることを理解している。</li> <li>・様々な人々に関わる際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、マナーを守ったりして接している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の場所におけるふさわしい行動を予想しながら、活動の計画を立てたり約束を決めたりしている。</li> <li>・地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら、とらえている。</li> <li>・好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返りながら、工夫して友達に知らせている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の場所や人々に応じて、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。</li> <li>・地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとしている。</li> </ul>

4 指導にあたって

本単元の重要指導事項は、学習指導要領生活科第2学年の内容(3)「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活が様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」

(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々に関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。」に位置づけられている。1学年生活科の「こうえんで なつを さがそう」や「むかしから つたわる あそびを たのしもう」での気付きや学びが地域に関わる活動につながる。児童は1学期の「どきどき わくわく まちたんけん」で、学区にあるお店や施設などを全員で巡る町探検を行い、気付いたことや分かったこと、もっと知りたいことをまとめた。本単元では、探検したことを元に再度、町探検に出かけ、地域の人々や場所と関わる活動を中心に学習を進める。その中で、地域との様々なつながりを意識し、ルールを守り、地域の人に感謝する心を養うことをねらいとしている。

児童の実態調査 (アンケート)		(22名 7月19日実施)	
1	学習して分かったことや、気付いたことを誰かに伝えたいと思いますか。	思う 16人	思わない 6人
2	自分の住んでいる町のことを知っていますか。(人、場所、物など)	知っている 17人	知らない 5人
3	自分の町の素敵なところを紹介できますか。	できる 9人	できない 13人
4	町の素敵なところを書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働いている人がたくさんいる。・神社がある。・すずしい・水がきれい</li> <li>・お店がたくさんある。・おいしいお店がある。・家がたくさんある。</li> </ul>	
5	気になる場所やもっと知りたいと思うことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉神社にはどうして湧き水があるのか。</li> <li>・はぎや旅館にいきたい。・公園について知りたい。</li> <li>・はぎや旅館の中はどんな風になっているのか。</li> <li>・お店について知りたい。(うなぎ屋、旅館、水木の庄、赤津水産)</li> </ul>	
6	自分から積極的に地域の人に話しかけられますか。(あいさつなど)	話しかけられる 16人	話しかけられない 6人

本学級の児童は、登下校時や普段の生活の中で、地域の様々な場所や人を目にしている。事前アンケートの結果、場所や人、ものなど自分の住んでいる町について知っている児童は77%以上いた。一方、町について知っていることはあっても、町の素敵なところを紹介できると答えた児童は40%であった。自分たちが住んでいる町について知っていることはあってもそれを町のよさだと捉えている児童は少ないことがわかる。町のよさを捉えることは難しくても、町について気になることや知りたいことがある児童は多くいた。特に、町探検で回った地域のお店に対しての質問が多く、自分の住んでいる町について児童が興味や関心をもったことがうかがえる。また、「自分から積極的に地域の人に話しかけられますか。」という質問に対し、半数以上の児童が「話しかけられる」と答えていることから、地域の人との交流に意欲的であることが分かった。しかし、普段の生活の様子を見ていると、目上の人に対して敬語を使えないことが多く、時と場に応じた適切な話し方が

身に付いているとはいえないのが現状である。

そこで、指導に当たっては、単元のゴールを探検で分かったことを整理してポスターにまとめ、ポスターとお礼状を探検したお店に渡しに行くことを設定し、児童に目的意識が生まれるようにする。1学期は、全員で町探検に行き、地域の人や場所について分かったことや気になったこと、もっと知りたいことをまとめ、全体で共有した。2学期は、1学期にまとめたことを元に探検場所を決め、詳しく調べるためにグループに分かれ、分担して実際に地域のお店や場所に行き、地域の人に会ってインタビューを行う。自分たちの予想したことを元に質問を行うことで、予想と実際の回答を比較し、新しい発見に気が付けるようにする。また、新しい発見や疑問があることで、地域に対しての興味・関心、大切にしていこうとする気持ちももてるようにしていく。自分たちが探検に行った場所だけでなく、地域には他にもさまざまな場所や人がいる。

本時においては、グループごとに「もの」、「こと」、「人」の項目に分けたカードを作り、タブレットで発表カードを作成する。その後、一緒に探検に行っていない友達に分かりやすく伝えることで、児童が探検した場所以外にも地域の場所や人に親しみをもち、自分たちの生活と地域が関わっていることを知り、さらに「町のよさ」を大切にしていこうとする意識を高めることにつなげていく。

金融経済教育の視点D「キャリア教育に関する分野」の「社会との様々なつながりを理解し、ルールを守り、他人に感謝する心を養うとともに、よりよい社会を築くためにみんなで協力することの意味を理解し、何ができるかを考え実行できる態度を養う。」に迫り、児童が働く人に感謝し、地域のために協力して生活ができるよう指導する。

## 5 指導・指導計画（13時間扱い、○は本時）

時	主な学習内容・活動	観点	評価規準（評価の手段）
1	・探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合う。 ・探検先ごとにグループをつくる。	思考	・探検に行きたくて実現できそうなことを予想し、探検する場所や調べることを決めている。 (発言・観察)
2 3	・グループごとに探検の計画を立てる。 ・質問することを整理し、質問カードを作る。 ・質問の練習をしたり、マナー（挨拶や交通安全について）を確認したりする。	知識 思考	・気付いたことや疑問に思ったことを元に探検場所について問いを見出している。 ・行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てたり約束を決めたりシミュレーションをしたりしている。 (発言・ワークシート)
4 5	・グループごとに探検に行く。	知識 思考	・探検先の人々に接する際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、マナーを守ったりして接している。 ・地域で見つけたことを自分のこれまでの経験と関連させながら、地域の場所や人の役割を探している。(ワークシート・発言・観察)
6	・探検活動を振り返り、気付いたことを記録カードにかく。	思考	・地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それが自分と関わっていることが分かっている。 (ワークシート・発言)
7 8	・探検で見つけたことをグループごとに整理する。	思考 主体	・地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。 ・地域の場所や人々への親しみや愛着をもってそれらのよさを大切にしようとしている。 (発表ノート・発言・観察)
9 10 11	・紹介の仕方を考える。 ・探検に関わった人のことを他のグループに伝える準備をする。 ・発表会の練習を行う。	思考 思考 主体	・相手意識をもって、どうまとめれば伝わりやすいか考えながら工夫して準備をしている。 ・相手意識をもって、どうまとめれば伝わりやすいかを考え、地域の場所や人々のよさを自分の言葉でまとめようとしている。 ・地域の場所や人々への親しみや愛着をもってそれらのよさを大切にしようとしている。 (ワークシート・発表ノート・観察)
12	・発表会を行う。	思考	・友達の見つけたことと自分の見つけたことの共通点や相違点を探しながら、地域のことを伝え合っている。(発表・ワークシート)
13	・地域のさまざまな場所や地域の人たちと自分の生活の関わりについて話し合う。	知識 思考	・地域には自分たちの暮らしを豊かにしてくれる人がたくさんいることに気付いている。 ・自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いから共通点を見出し、地域の人々のよさについて話している。 (発言・観察)

6 本時の指導

(1) 目標

- 相手意識をもって、どうまとめれば伝わりやすいかを考え、地域の場所や人々のよさを自分の言葉でまとめることができる。(思考力・判断力・表現力等)

(2) 金融経済教育の視点

金融経済教育の視点 D「キャリア教育に関する分野」の「社会との様々なつながりを意識し、ルールを守り、他人に感謝する心を養うとともに、よりよい社会を築くためにみんなで協力することの意味を理解し、何ができるかを考え実行できる態度を養う。」に迫り、児童が働く人に感謝し、地域のために協力して生活ができるよう指導する。

(3) 準備・資料

カード・掲示物・タブレット・電子黒板

(4) 展開

☆金融経済教育上の配慮事項 ○指導に生かす評価 (評) 記録に残す評価

学習内容・活動	指導上の留意点、評価
<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすいカードの書き方</li> <li>・もの、こと、人の項目にわけた書き方の工夫</li> </ul> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>町たんけんで見つけたことを友だちにつたえる準備をしよう。</p> </div> <p>3 相手意識をもって、グループごとに発表ノートを作成し、完成させる。</p> <p>(1) 各グループでカードの進み具合を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する順番を変えてみよう。</li> <li>・伝えたいことが伝わるように、写真を入れるといいね。</li> </ul> <p>(2) 発表ノートを作成する。</p> <p>(3) 自分たちの発表ノートが分かりやすくなっているか、他のグループの発表ノートを見に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードと合った写真を入れていて分かりやすいね。</li> </ul> <p>(4) 発表ノートが分かりやすくまとまっているか確認し、完成させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(発表ノート)</p> <p>カードを説明するための写真</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(ワークシート)</p> <p>あかつ水さんへ行ったよ！  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">人</span>                      地いきの人にしんせんで安ぜんな魚を食べてもらえるように、地元のうみでとれた魚を売っています。</p> </div> </div> <p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こと、もの、人にわけてグループで分かりやすいカードが作れた。</li> <li>・聞いている人を意識して発表ノートを作れた。伝えたい地域のよさが伝えられそう。</li> </ul> <p>5 発表会の流れについて確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに行った、分かりやすいカードの書き方の復習をする。</li> <li>・既習事項が確認できるように、地図、資料等を掲示しておく。</li> <li>・活動の見通しがもてるように、前時で確認した相手意識をもってわかりやすくまとめるポイントをグッドモデルで再度おさえる。</li> <li>・相手意識をもって取り組むことができるように、本番では発表ノート(タブレット)を使用して発表練習することを伝える。</li> </ul> <p>☆町探検のことを思い出し、自分たちの見つけた地域の人や場所のどんなよさを友達に伝えたいのかを考えるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識をもたせるように、相手が分かりやすい発表ノートとはどんなものか確認する。</li> </ul> <p>○自分の見つけた町のよさを、相手に分かりやすく自分の言葉でまとめようとしている。(B)</p> <p>Bに達していると判断されるグループや児童には、その理由を考え、ワークシートやメモに文章で記述するよう促す。説明が不十分で、Cと判断される児童には、グッドモデルの説明文を確認して、伝えたいことを表現できるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの発表ノートが分かりやすくなっているか比較検討できるように、他のグループの様子を見に行く時間をとる。</li> <li>・分かりやすい発表ノートになっているかグループごとに確認するよう助言する。</li> </ul> <p>(評) 相手意識をもって、どうまとめれば伝わりやすいかを考え、地域の場所や人々のよさを自分の言葉でまとめていたか。(思考力・判断力・表現力等)(ワークシート・発表ノート・観察)</p> <p><b>【目標を達成した児童の姿】</b>          相手意識をもって、どうまとめれば伝わりやすいかを考え、地域の場所や人々のよさを自分の言葉でまとめようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は発表の練習をタブレットで録画しながら行うことを伝え、意欲につなげる。</li> </ul>

1 小単元名 はなのようすをつたえよう (単元：きれいにさいてね)

2 単元の見積

- (1) 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。 (知識及び技能)
- (2) 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。 (思考・判断・表現)
- (3) 植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)

3 指導にあたって

本単元は、学習指導要領生活科編第1学年及び第2学年の「内容(7)動植物の飼育・栽培」に位置付けられているものである。単元全体を通して、児童が、植物の特徴や成長に関心をもち、植物に親しみをもちことを主な目標としている。

本学級の児童は、下記の実態調査から次の傾向が見られる。\*1から、タブレットの操作はまだ不慣れな状態である。また、\*2から、タブレットへの興味・関心が高いことがわかる。

しかし、日常生活では、人前で話をするのが苦手であったり、日直の司会進行時の声が小さく、相手に話の内容が伝えられなかったりする場面が多く見受けられる。また、指示理解が未熟なこともあり、本学級では、フラッシュカードでの視覚支援のほか、口伴奏(キーワード)をつけて、指示した動作を聴覚でも分かりやすく支援をしている。(名前→水筒→ランドセルの順で机の上に置く/雑巾がけは、2マス・ジグザグジグザクかえるさんで拭く/給食ナフキンは、くるくるおすしに巻く等)この支援が、児童の自主的な動作や自信に繋がり、積極的に清掃に取り組む姿が見られる。

本単元では、朝顔の成長をタブレットで写真撮影することを取り入れた。昨年度まで、観察記録を紙媒体で記録してきた。昨年度・1年生における事後テスト(朝顔の成長過程のフラッシュカードを成長の過程順に並びかえる)を行った結果、正答率が60%とやや低かった。このことから、タブレットを用いて児童が写真を撮り、観察記録を作る活動を通して、観察の様子が話しやすくなった(\*3)、成長過程を振り返りやすくなったたりすることで、同様の事後テストで正答率を上げることができるのではないかと考えた。また、植物の成長記録をタブレットで記録することで、他の植物や動物等の観察記録を付けてみたいといった児童の学びに向かう気持ちを引き出せるのではないかと考える。さらに、大みか小授業スタイル(国語科)から、理由を明確にするための掲示物やフラッシュカードを使用し、言葉で友達に分かりやすく伝えることも併せて指導していく。

実態調査(令和5年5月1~2日実施 計27名)

\*本学級特徴的項目

項目	質問事項	Yesの人数
	あさがおなど、しょくぶつを そだてたことがありますか?	20
	しょくぶつをみることは、すきですか?	25
	タブレットやスマホ、パソコンをつかったことがありますか?	10
*1	タブレットやスマホ、パソコンでしゃしんをとったことがありますか?	7
*2	タブレットをつかうことは、たのしみですか?	27
*3	しゃしんやえがあると、はなしをするときに、はなしやすいですか?	27

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付こうとしている。	・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけようとしている。	・植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

5 単元の指導計画(12時間扱い)

- 第一次 たねをまこう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- 第二次 せわをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 第三次 はなのようすをつたえよう・・・・・・・・・・ 2時間

時間	主な学習活動	評価基準(観点)	評価方法
1 本時	タブレットの操作方法を操作し、成長に気づく。	・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付こうとしている。(知識及び技能)	・行動観察
2	観察記録をつくる。	・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけようとしている。(思考・判断・表現)	・観察記録
3		・植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。(学びに向かう力、人間性等)	
4			

- 第四次 たねをとろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

6 本時の学習

(1) 目標

- ・操作キーワードの順に操作ができたり、写真を撮影したりすることができる。 (表現)
- ・自分が世話をしたことで、朝顔が成長していることに気づくことができる。 (知識)
- ・成長を期待し、それを写真で記録してみようという期待を話したり、書いたりすることができる。 (思考)

(2) 準備・資料

- ・タブレット・プロジェクター・スクリーン・掲示物・フラッシュカード

(3) 展開 ☆根拠や理由を明確にして自分の思いや考えを表現するための手立て ◇ICT 機器の効果的活用

	学習活動及び内容	児童への支援と評価
へ 導 入 5	<p>1 本時のねらいを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     タブレットで、しゃしんをとろう、おくらう。                 </div>	<p>◇児童が想起しやすいように、前時までの活動の写真を数枚、スクリーンに提示する。</p> <p>◇授業のねらいを児童の印象に残せるように、本時の流れをスクリーンに提示する。</p>
へ 展 開 35分 へ	<p>2 学習手順を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>操作キーワード</b>                      ① 電源を入れる キーワード「スイッチ」                      ② パスワードを入力 キーワード「パスワード」                      ③ まなびポケットを起動 キーワード「まなポケ」                      ④ スカイメニューを起動 キーワード「スカイメニュー」                      ⑤ カメラ機能を起動 キーワード「カメラマーク」                      ⑥ 写真を撮影 キーワード「おしゃしん」                      ⑦ スカイメニュー提出箱に提出 キーワード「ていしゅつ」                 </div> <p>3 タブレットの操作をする。                      (1) 手順①～⑤を、スクリーンに提示された手順を見て、教師と一緒に進める。                      (2) 操作が難しい友達に操作の仕方をおしえたり、おそわったりする。</p> <p>4 写真撮影をする。                      手順⑥ 朝顔の鉢のところへ行き、写真撮影をする。</p> <p>5 ペア・グループでの活動をする。                      撮影した朝顔の写真を児童間で見せ合う。友達の朝顔の様子や写真の様子を話す。</p> <p>6 手順⑦ スカイメニュー提出箱へ提出する。                      スクリーンに提示された提出の手順を見て、教師と一緒に進める。</p>	<p>・児童が質問しやすくなるように、「説明で操作ができそう?」「クリックする場所が分かった?」等と随時、言葉掛けをして、雰囲気を作る。</p> <p>・学習の活動に入ることが難しい児童が、困っているときには、個別に対応するか、再度、全体で操作の手順の説明をする。</p> <p>・個別に配慮を要する2名の児童には、生活指導員2名が、生活科室で同様の内容に準じた活動内容で支援をする。</p> <p>☆操作手順が難しい児童には、「手順の○番が分かりません。」と分からない箇所を明確に言えるように、教師から「手順の何番で分からなくなっていますか?」と問いかけをする。</p> <p>・写真を教師に見せに来た児童には、写真を撮ることに興味や意欲が高まるように、「上手に撮れたね。」と称賛する。</p> <p>・写真を撮ることに興味や意欲が高まるように、撮影した写真は、友達と自由に見せ合う時間を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     (評)                      ・タブレットの操作で写真に表すことができる。 (操作)                      ・自分が世話をしたことで、朝顔が成長していることに気づくことができる。 (記録)                      ・成長を期待し、それを写真で記録してみようという期待を話したり、書いたりすることができる。 (発言・記録)  <b>【目標を達成した児童の姿】</b>                      ・撮影した写真を見せ合っている。                      ・「写真が撮れた。」「朝顔の葉っぱ小さい。」「芽が出ている。」「お母さんにも教えたい。」等の発言をしている。                 </div>

<p>へ 終 末 5 分</p>	<p>7 本時を振り返る。  (1) 操作方法のキーワードを振り返る。  (2) 手順①～⑦のキーワードのフラッシュカードを見て、復唱する。</p> <p>8 次時の内容を聞く。</p>	<p>◇撮影できた達成感を児童が味わえるように、児童自身が撮影した写真をスクリーンに提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が次時の学習に意欲がもてるように、教師が写真にコメントを添える。</li> <li>・次時への見通しをもてるよう、「次もこの手順で写真を撮ってみようか？」と問いかける。</li> </ul>
----------------------------------	---	---

1 単元名 自分がなりたい仕事や友だちから勧められた仕事について調べよう

2 単元の目標

- (1) 社会生活には様々な役割があり、社会人として自分の役割を果たすことの大切さを理解することができる。 (知識及び理解)
- (2) 様々な職業や生き方、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連を理解し、身に付けるべき知識や技能や、これからの生き方、将来を考えることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 就きたい仕事やなりたいものなどの希望をもち、それを実現するための進路計画をまとめ、実行しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会生活には様々な役割があり、その役割について情報を収集し職業に関する理解を深め、社会人として役割を果たすことの大切さを理解している。	・職業についての調査活動を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、自分が将来に向けてしなければならないことを考えることができる。	・自分の興味・関心や適性を生かした職業を主体的に選択しようとしている。 ・将来の夢や希望をもち、実現するための生活や学習上の課題を見つけ、解決に向けて努力している。

4 単元について

本学年の児童は5年生までの総合的な学習の時間を通して、学校や地域のために活動することの大切さや地域とのかかわりの大切さを実感してきた。今年度は自分の家族、地域で働いている人々、様々な分野で働いている人々に目を向け、それらの人とかかわりの中から、いろいろな職業があることや働くことの意義や大切さ、将来の生き方について学ばせたいと考えた。そこから児童一人一人が将来の夢や希望を見つけ、それを叶えるためのこれからの目標を明らかにし、自己を見つめ直すことを期待し、この単元を設定した。キャリア教育の視点から考えると、自分がなりたい職業を調べたり、職業や生き方についての話をゲストティーチャーや保護者、地域の人から聞いたり、海外の同年代の児童との交流を通したりする様々な体験から、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連を理解し、前向きに自己の将来に対する進路計画を立て、実現に向けて努力していく態度を養う。この一連の学習は、直接的に職業的発達にかかわる諸能力を育成することや、さらには、中学校でのキャリア教育の一環である職業体験学習につながる学習であると考えた。

総合的な学習の時間についての実態調査 (令和6年5月30日実施 28人)		
1 自分の将来の夢がある。	はい 25人	いいえ 3人
2 自分の長所と短所を知っている。	はい 15人	いいえ 13人
3 自分のなりたい職業について調べたことがある。	はい 22人	いいえ 6人
4 自分の将来の夢に向けて具体的に考え行動している。	はい 15人	いいえ 13人
5 自分がなりたい職業で働いている人のお話を聞いたことがある。	はい 15人	いいえ 13人 親から聞いた3人 テレビで見た6人 ネットで聞いたり見たりした8人 イベントで聞いた1人

本学級は、将来なりたい職業や夢をもっている児童が多くいる。またそれについて前向きに行動したり、積極的に調べたりする児童も多い。しかし、自分がなりたい職業で働いている人のお話を実際に聞いたり見たりしたことがある児童は半数である。また、自分の将来なりたい職業や夢に向けて具体的に考えて行動している児童も半数であり、なりたい夢はあるが、どういう技能や知識を身に付ければよいのかを理解していない児童が多いことが分かる。そこで、実際にその仕事をしている人のお話を直接聞く体験や、他者から見た自分の適性にあった職業を勧めてもらった活動をしたり、海外の児童と夢を語り合ったりする交流活動などを通して、自分の将来について広い視野で考え、自分事として捉え、今後の生活や将来に生かしていけるような学習にしていきたい。

指導にあたっては、単元の導入で、自分の好きなものや興味のあるものから夢探しや仕事探しをし、少しでも自分がなりたい職業ややりたいことを見つけられるようにする。実際に働いている様々な人の意見や経験談、職場見学などを通して、「働くことの意義」「自分の夢のためにできることは何か」、など自分の将来について深く考えられる機会を作る。また、調べ学習や体験学習など、個人の学びの後には必ず意見交流を設定したり、外国の児童との交流を通したりして、多様なものの見方や考え方にふれ、児童一人一人の考えが深められるようにしていきたい。さらに、児童同士の学び合いや調査活動がより深まるよう、ICT機器を情報の収集や共有などの場面で効果的に活用して児童中心の学びを充実さ

せていきたい。

5 単元の指導計画（12時間扱い）「知・思・態は指導に生かす評価、知・思・態は記録に残す評価」

次	時	学習内容・活動	観点	◎評価【評価方法】・留意点等 ※は努力を要する児童への手立て
1	1 2 3	自分が好きなことややりたいことを考えて、職業探しをしよう。  ・自分の興味・関心やよさを生かし、なりたい職業を検索する。 ・タブレットで調べる。 (未来の仕事を探せ!学研キッズネット) (13歳のためのハローワーク)	態	◎自分が好きなことから職業探しについて進んで調べている。 【観察・ワークシート】
	4	自分の興味がある仕事はなにか考えよう。  ・ワークシートに記入	思	◎自分の興味のある職業とその理由について考えることができる。 【観察・ワークシート】
2	5 6 7 8	自分の興味のある職業について詳しく調べてまとめよう。 ・調べたことをプレゼン資料にまとめる。	思	◎職業についての調査活動を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、自分が将来に向けてしなければならないことをプレゼン資料にまとめることができる。 【観察・タブレット】
3	9 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>目標：友だちの長所を考え、勧めたい職業とその理由を詳しく伝え合うことができる。</p> </div> <p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>友だちの長所に合う職業を見つけて伝え合おう。</p> <p>2 自分が選択した職業を伝え合う。 ・自分が調べた職業を簡単に伝え合う。</p> <p>3 友だちの長所を伝え合う ・グループになりそれぞれの友だちの長所を理由とともに伝えていく。 (3人～4人グループ)</p> <p>4 友だちに勧めたい職業を決める。 ・友だちの長所に合うお勧めの職業をそれぞれ決める。 ・なぜその職業を勧めたいか理由を発表する。 ・友だちから勧められた職業をタブレットにまとめる。</p> <p>5 全体で共有する。 ・友だちから勧められた職業を理由とともに発表する。</p> <p>6 学習を振り返り、次時の学習を知る。 ・自分が選んだ職業と友だちから勧められた職業を比べてみる。 ・友だちから勧められた職業から気づいたことを考え、発表する。</p>	思	<p>・本時では友だちの長所や性格に合う職業を見つけ、勧める活動をすることで、自分に合った色々な職業を知る機会とすることを伝える。 ・前時までに作成したプレゼン資料の要点をまとめて簡単に説明するよう伝える。 ・友だちの長所だと思ふ理由を詳しく伝えるように全体に助言する。 ・相手が聞いて不快な気持ちになるような言葉は使わないように指導する。 ※他のグループのグッドモデルを全体で共有して、友だちに長所を伝えられずに悩んでいる児童も、発表しやすいように支援する。 ・友だちの職業に対する視野を広げるために、職業を勧める人は友だちが既に調べている職業以外を勧めるように伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>目標とする児童の姿</b> ◎友達に勧めたい職業を相手の長所に合わせて分かりやすく伝えていく。 【観察・ワークシート】</p> </div> <p>・友だちからももらった意見をさらにプレゼン資料に生かしていくように伝える。 ・本時の学習内容を振り返り、次時への学びへとつなげる。</p>
	10	友だちから伝えられた意見をもとに詳しくまとめよう。  ・プレゼン資料をさらに詳しくまとめる。	思	◎友だちから伝えられたことを詳しくプレゼン資料にまとめることができる。 【観察・タブレット】
4	11 12	職業についての報告会をしよう。 ・全体で報告会をする。	態	◎将来に夢や希望をもち、実現するための生活や学習上の課題を見つけ、解決に向けて努力している。 【観察】

1 単元名 たのしいあきいっぱい

2 本単元の目標

- (1) 秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりすることができる。(知識及び技能)
- (2) 秋の自然と関わる活動を通して、四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知① 自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。 知② 自然の物を使った遊びや遊びに使う物を工夫して作ることの面白さに気付いている。	思① 身近な自然の違いや特徴を見付けることができる。 思② 身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫して作ろうとしている。	態① 身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら自然と関わろうとしている。 態② みんなと楽しみながら自然の物を使った遊びを創り出し自分の生活を楽しくしようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、生活科の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作る事ができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。」を受けた内容である。身近な自然の変化に気づき、自然の中から生まれてくる遊びや遊びに使う物を創作し実現することで得られる満足感を味わうことができるとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようにすることをねらいとしている。

(2) 児童観 (令和5年9月27日調査 37名)

調査項目		
①季節の変化を感じたことがある。	ある 34名	ない 3名
②季節を感じたときどんな気持ちがありましたか？	わくわくした、うれしくなった そとに出たくなった、 いろんな遊びをしたくなる	

本学級の児童は、季節の移り変わりを感じ、そのことを喜びと感じる児童が多いということが分かる。しかし、あまり季節に関心がない児童もいることから、季節の移り変わりと共にそれぞれの良さがあり、楽しむ方法がたくさんあることを経験することで、生活に楽しみを加えていきたいと考えた。

(3) 指導観

本単元では、身近な自然と関わる活動を通して、四季の変化に気づき、その変化から遊びを創り出し、自分の生活がより楽しいものになるようにしたい。そのために、時間をかけて自然と触れ合い、多くの気づきや発見が生み出されるようにしていく。また、気付いたことをカードにまとめた友達同士で伝え合い、交流する場を取り入れたりとすることで、自分の考えに自信をもち創作活動ができるようにしたい。さらに、自分で創り出した遊びやおもちゃを、年長児を招待した交流活動に生かすことで、自分で創り出す面白さに気付かせたい。

5 指導計画（21時間扱い）

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価 ☆自己肯定感を高める手立て

次	時	学習活動・内容	知	思	態	評価規準・指導上の留意点
1 本 時		<p>1 春や夏について振り返る。                      (春)・あったかい・お花がさいている・長袖をきている                      ・花をつんだよ                      (夏)・暑い・緑がいっぱい                      ・みんな半袖を着ている。                      ・虫がいた・水遊びをした</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     秋の自然や、まわりのようすについて考えよう。                 </div> <p>3 秋の様子についてカードにまとめる。</p> <p>(1)一人で秋の自然の様子や服装、周りの様子について考えプリントに書く。                      ・虫をつかまえた・葉っぱがたくさん・長袖の子が多い・木がきれいな色・涼しい風</p> <p>(2)自分が考えたことを、グループ内で伝え合う。</p> <p>(3)秋の写真を見せて追加することが無いかないか話し合う。</p> <p>(4)秋についてまとめたことを発表する。</p> <p>(5)これから秋が深まっていって、どんなことをしたいか考える。                      ・葉っぱで遊びたい・きれいな葉っぱを集めたい・秋の虫をさがしたい・外で遊びたい。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     秋になると、自然や服装などまわりのようすが変化してくる。                 </div> <p>5 本時を振り返り、これからの活動について確認をする。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・春と夏の様子が分かる写真を見て気が付いたことを発表し合う。</li> <li>・進んで発言したり、友達の発言に共感できたりしたときには、よく思い出せたことを称賛する。</li> <li>・「春」「夏」と変化があったように、「秋」は、どのように変わっていくのかをまとめていくことを確認する。</li> <li>・今までの経験が想起しやすいように、夏が終わった後、周りの木や服装など変わったところがないか声をかける。</li> <li>☆すぐに書けた児童をお手本として指名する。お手本を示すことで、多くの児童が自信をもち記入できるよう支援する。</li> <li>☆グループの中でも気付いたことを言葉で発言することが難しい児童には、書いたプリントを見せるなどして、全員の考えが交流できるようにする。</li> <li>・写真を見せて改めて気が付いたことを話し合いながら追記していくように伝える。</li> <li>思① 秋の特徴を話し合ったり、思い出したりしながらカードにまとめることができる。</li> <li>【話し合い・ワークシート】</li> <li>・グループごとにまとめたプリントをスクリーンに映し出し全体で共有できるようにする。</li> <li>・友達の発言を称賛したり、共感したりしながら話し合いをしていたグループを紹介する。</li> <li>・早く終わったグループには、どうしても、「秋」にしたい事を実現できるかみんなで話し合うように伝える。</li> <li>・季節の変化と共に周りの自然の様子や服装が変わっていくことを確認する。</li> <li>・実際に秋探しを行い、みんなで秋を楽しむことを伝える。</li> <li>☆本時を振り返り、秋について興味をもちこれからの活動に意欲をもてたことを称賛する。</li> </ul>

2	2	校庭のいろいろな秋の自然をさがそう。 ・校庭に出て樹木や花を観察したり木の実や草などを使って遊んだりする。 春や夏とは違う、葉や木の実があった。	◎		・秋の自然物を探したり、探し出したもので遊んだりして良いことを伝える。 ・見つけたものは写真に撮って記録に残していくことも伝える。 思① これまでに、見たり捕まえたりした場所に行き、虫を探している。【行動観察】
	3	校庭にあった秋について話し合おう。 ・見つけた秋についてカードに書く。 ・秋の自然の特徴を話し合う。 校庭にはたくさんの秋の自然があった。	◎		・撮った写真を見ながら活動について振り返る。 ・自分が見つけたことをカードにまとめる。 知① 秋の自然物や夏との違いに気付きカードに書いたりすることができる。【発言・ワークシート】
2	4 5 6	こうえんであきをさがそう ・公園に行き、ルールを守りながら遊んだり、自然の観察をしたりする。 公園にも秋の自然がたくさんある。	◎	○	知① 身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。【行動観察・ワークシート】
	7 8 9	はっぱやみであそぼう ・葉や木の実などの自然物をつかった遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくらしたりする。 工夫すると葉や木の実でいろいろな遊びができる。		○ ◎	態① 自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。【行動観察・作品】
4	10	あきのことをつたえよう ・秋の自然で活動したことを振り返り、友達と紹介し合う。 遊びがかわったり、周りの様子も変わったりしてくることが分かった。	◎		知① 季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。【発言】
5	11 17	あきのおもちゃをつくろう ・おもちゃ楽器を工夫して作る。 ・改良したり、つくるおもちゃをかえたりして楽しむ。 ・友達と一緒に遊びながら、遊び方を工夫していく。 くりかえし工夫するとみんなで楽しめるおもちゃができた。	◎	◎	知② いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。【行動観察】 思② 様々な自然を試しながら、材料を選び、おもちゃをつくらしている。【行動観察・発言】
6	18 21	いっしょにあそぼう ・自分が作ったおもちゃで園児と一緒に遊ぶための話し合い、準備をする。 ・園児と一緒に遊びを楽しむ。 ・振り返る 保育園のみんなも秋のおもちゃで楽しんでくれた。	○	○ ◎	態② 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。【作品】

1 単元名 たのしい あき いっぱい

2 単元の目標

- (1) 秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くことができる。 (知識及び技能)
- (2) 秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることにも気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。」及び(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができる、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。」の2つの内容を受けて構成されている。本単元では、身近な公園や校庭の自然の中での秋さがしの活動を通して、春や夏との自然の様子の違いに気付かせるとともに、自然物を使ったおもちゃを工夫して作る活動から、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりすることをねらいとしている。

(2) 児童観

実態調査

(令和 年 月 日 名)

① 木の葉や木の実で遊んだことはありますか。	ある	名	ない	名
② 木の葉や木の実で遊ぶ物を作ったことはありますか。	ある	名	ない	名
③ 木の葉や木の実を使って、いろんな遊びを試してみたいですか。	はい	名	いいえ	名

実態調査の結果から、本学級の児童は、秋の自然物で遊んだ経験は多いが、遊ぶ物を作った経験が少ない児童が多いことが分かる。加えて、自然の物を使って遊んでみたい、何かを作ってみたいという思いをもった児童が多いことも分かった。

(3) 指導観

本単元の学習では、秋の校庭や公園などの身の回りの自然と触れ合う活動を通して、友達と関わり合いながら、秋の自然を生かした遊びを考えたり、おもちゃ作りを行ったりする。

単元の初めには、身近な場所での秋見つけの活動を行う。見付けた秋の自然物の特徴について考えることで、夏と秋の違いや秋の自然物の不思議さに気付くことができるようにする。その後、秋の自然物を使ったおもちゃ作りに向けて、再度公園での秋見つけの活動を行う。公園での秋見つけを行う前には、秋の自然物を使ったおもちゃや遊び方を十分に紹介しておくことで、自分でも作ってみたいという意欲を高めていく。またタブレットを活用して事前に設計図を作成することで、必要な材料や完成の見通しがもてるようにする。児童が自ら集めてきた秋の素材をもとにおもちゃ作りを行うことで、秋と関わる楽しさや作ることができた喜びを味わえるようにする。また、秋のおもちゃ作りの活動で、自分の思いや考えを友達と比べながら、より良い工夫について考え試行錯誤する経験を通して、友達と協力して遊びを創り出す楽しさや面白さにも気付かせていく。本単元での学習では、児童同士が対話しながらかつ活動する場を多く設けることで、自分の考えを深めるための気付きの質を高めていきたい。

4 単元の指導計画(15時間扱い)

第1次 あきをみつけよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間

第2次 あきのおもちゃをつくろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8時間

時	学習活動	評価規準(評価方法)
1	秋の自然物を使ったおもちゃについて知る。	季節を生かして遊ぶことに楽しさを感じ、季節の遊びを楽しもうとしている。 <態度>(行動観察・発言分析)
2 本時 3	自分の作りたい秋のおもちゃを選び、設計図を作る。 自分が作った設計図を友達と見せ合い、より良い工夫を考えて設計図を作る。	材料を工夫しながら、自分のつくりたいおもちゃの設計図を作ることができる。 <思・判・表>(発言分析・発表ノート)
4	公園で秋のものを探し、おもちゃ作りの材料を集める。	作るおもちゃの内容を想像しながら、おもちゃ作りに使う自然物を選んでいく。 <思・判・表>(行動観察)
5 6	秋の自然物を使って、おもちゃ作りをする。	秋の自然物を使って、おもちゃを作ることができる。 <知・技>(行動観察・作品)

7	自分が作ったおもちゃを友達と見せ合い、話し合いながらより良い工夫を考え、おもちゃ作りをする。	友達と話し合ったことを参考にして、工夫しておもちゃを作ることができる。 ＜思・判・表＞（行動観察・作品）
8		

第3次 あきのおもちゃであそぼう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

5 本時の目標

- (1) 目標  
材料を工夫しながら、自分がつくりたい秋のおもちゃの設計図を作ることができる。
- (2) 準備・資料  
①秋のおもちゃの見本 ②秋の自然物の見本 ③教師用タブレット ④テレビモニター  
⑤秋のおもちゃの拡大写真（掲示物） ⑥児童用タブレット ⑦設計図の作り方の手順

(3) 展開 個は個に応じた支援 評は評価

学習活動・内容【学習形態】	教師の支援・留意点・評価
1 前時の学習を振り返る。【一斉・①②⑤】 ・秋のおもちゃにはどのような物があったかを確認する。	・自分が作りたと思うおもちゃについてイメージをもつことができるよう、秋の自然物を使ったおもちゃや秋の自然物の実物を提示する。
2 本時の学習課題を確認する。【一斉】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">あきのおもちゃの、せっけいずをつくろう。</div>	・本時の学習は、自分で秋のおもちゃを作るにあたって、どのような工夫をしておもちゃを作るかを考える学習であることを伝える。
3 設計図の作り方を確認する。 【一斉・③④⑥⑦】 ・発表ノートを使った設計図の作成方法を確認する。	・設計図の作成の手順が理解しやすいよう、教師用タブレットを使用して、実際に児童と同じ手順で作成の手順を説明する。 ・作成の手順をすぐに確認することができるよう、設計図の作り方の手順を黒板に掲示する。 ・設計図の作成方法を十分に理解することができるよう、全体で発表ノートでの設計図の作成に関する操作を行い、操作方法の確認を行う。
4 秋のおもちゃの設計図を作る。【個人・②⑥】 (1)自分の作りたおもちゃを選ぶ。 (2)自分が選んだおもちゃの設計図を作成する。	・設計図を作成する際には、自分が選んだおもちゃの画面を使用して設計図を作成するよう伝える。 ⑩一つの設計図が完成した児童には、次のシートを使い、違った工夫をした設計図を作成しても良いことを伝える。 ⑪設計図の見通しがもてない児童には、秋のおもちゃの実物や、秋の自然物の見本を提示し、具体的な大きさや工夫できるポイントについて考えられるよう支援する。
5 友達の設計図の工夫を知り、より良い工夫について考える。【全体・個人②③④⑥】 (1)全体で様々な工夫の仕方を確認する。 (2)友達の工夫を参考にして、自分の設計図の改良を行う。 (3)自分が作った設計図を提出する。	・様々な工夫の仕方について考えを広げることができるよう、よい工夫がされている児童の設計図を取り上げて称賛し、全体に紹介する。 ⑫材料を工夫しながら、自分が作りた秋のおもちゃの設計図を作ることができる。 (発表ノート) ＜目標を達成した児童の姿＞ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">材料を工夫しながら、自分が作りた秋のおもちゃの設計図を作ることができる。</div>
6 本時の振り返りと、次時の学習内容を確認する。	・次時の学習では、同じおもちゃを作る友達同士で設計図を見せ合い、より良い工夫について考えることを伝え、自分で考えた秋のおもちゃを作りたという今後の活動への意欲をもたせる。

〈研究課題〉 子どもが輝く学級経営につながる指導力の向上

1 単元 共に生きるー考えよう！わたしの町の身近な福祉ー

2 目標

- 体験活動や調べ学習を通して、福祉について、様々な立場から多面的に理解することができる。  
(知識及び技能)
- 体験したことや調べたことをもとに、障害のある人やお年寄りの立場に立って考え、ものの見方や考え方を深めることができる。  
(思考力・判断力・表現力等)
- 障害のある人やお年寄りだけでなく、自分を含む様々な人にとって住みよい町とは何かを考え、社会の一員としての自分を自覚することができる。  
(思考力・判断力・表現力等)
- 障害のある人の話や体験活動を通して課題を見付け、解決の見通しをもって自分なりの方法で意欲的に追究しようとしている。  
(学びに向かう力・人間性等)

3 単元について

本単元の指導では、障害のある人や高齢者の話を聞いたり、体験活動を行ったりすることで、現状で困っていることや周りの人々にしてほしいことなど、その思いや願いに迫ることができることをねらいとしている。また、様々な体験活動をしたり、いろいろな立場の人の話を聞いたりすることにより、多面的に捉えたり多角的に考えたりできるようにしたい。学校図書やインターネットなど様々な方法を活用しながら、学習課題に関する情報を幅広く収集し、それらを整理・分析して、自分なりの考えや意見をもつことも必要となる単元である。

実態調査

(人)

1学期はどんな福祉について調べたか。	・視覚障害者 11 ・高齢者 2	・聴覚障害者 8	・肢体不自由者 3	・子ども 1
1学期調べた福祉以外で興味があるものは何か。 (複数回答)	・視覚障害者 8 ・高齢者 5	・聴覚障害者 5	・肢体不自由者 9	・子ども 4
体験してみたいことは何か。 (複数回答)	・点字体験（読む・書く） 7 ・車椅子体験 3	・手話体験 5	・盲導犬の体験 3	・アイマスク体験 2 ・分からない 7

本学級の児童（25人）は、1学期に福祉について調べ学習を行い、プレゼンテーションにまとめる活動を行っている。また、第3学年で国語科「パラリンピックが目指すもの」の学習等を通して、障害のある方が活躍するスポーツや、手話や点字などのコミュニケーション方法があることについて学習したため、断片的な知識はもっている。また、体験への興味は高いことが分かる。しかし、それぞれにどんな目的があり、現在、障害者や高齢者にとってどんな課題があるのかを理解している児童はいない。

そのため本単元では、障害のある人や福祉活動をしている人の話を聞いたり、疑似体験をしたりすることにより、安心して暮らせるようにするためには社会全体の支援が必要であることをつかませる。そして、様々な立場に立つことにより、障害のある人やお年寄りの生活は、想像以上の苦労があると気付き、自分たちに何ができるかを考え、実践していこうという意欲につなげる。

研究課題に迫るために、お互いの意見を聞き合うときには、異なる視点を出し合い、検討していくことで、事象に対する認識が深まることを児童に実感させたい。本時の中でも、一人ひとりが立てた問いをお互いで認め合い、誰もが安心して意見を出せる場を形成できるようにする。

4 学習計画（70時間取り扱い）

第1次 福祉って何だろう・・20時間

第2次 自分の課題について調べよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30時間

○は記録に残す評価

時	主な学習内容	観	評価の規準（評価の方法）
1～8	・課題について、本やインターネットで調べる。	知	・興味をもった福祉について調べたことを、整理したり分析したりしている。（観察、発言）
9～15	・調べたことを発表資料にまとめ、発表する。	知 思	・課題について調べたことを、相手に伝えるようにまとめている。（観察、発表資料）

16～30 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑似体験活動をしたり、話を聞いた りして、生活の大変さを理解する。</li> <li>盲導犬教室 アイマスク体験</li> <li>点字体験 手話体験</li> </ul>	知 主	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動を通して、様々な立場から、福祉につ いて理解している。</li> <li>障害のある人の気持ちについて問いをもち、体 験活動をしたり、講演を聞いたりしようとして いる。 (観察、発言、ワークシート)</li> </ul>
-------------	---	--------	---

第3次 活動のまとめをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15時間

第4次 まとめたことを発表し、自分たちにできることを考えよう・・・・・・・・5時間

5 本時の学習

(1) 目 標

- 盲導犬について疑問に思ったことや調べたいことを問いとして書き表すことができる。  
(学びに向かう力・人間性等)

(2) 準備・資料

- ・ワークシート ・ふせん ・バンダナ ・盲導犬についての資料(2種類) ・タブレットPC

(3) 展 開

☆生徒指導の4つの視点(視点名) ○個に応じた手立て (評) 評価方法

児 童 の 活 動	教 師 の 働 き かけ
<p>1 盲導犬について知っている知識を全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットのポジショニング機能を使う。</li> </ul> <p>2 本時のゴールを設定する。</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">盲導犬の講演会に向けて、問いをもとう。</p> <p>3 問いづくりをする。</p> <p>(1) グループの中でそれぞれが別な体験したり資料を読んだりする。(問いのタネ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンダナを用いてアイマスク体験をする。</li> <li>・盲導犬がユーザーに伝える3つのことについての資料を読む。</li> <li>・盲導犬の数についてのグラフを読む。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[予想される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段とは見え方が全く違うので怖い。生活の中で困っていることを知りたい。</li> <li>・盲導犬がいて助かるのはどんなことかな。</li> <li>・町の中で盲導犬を利用している人に会ったら、どんなことができるかな。</li> <li>・盲導犬を増やすために、自分たちにできることはあるのだろうか。</li> </ul> </div> <p>(2) グループで問いを3つに決め、全体に向けて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いはタブレットに入力する。</li> </ul> <p>4 本時の振り返りをし、次時について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童それぞれが考えていることが分かるように、盲導犬を知っているか、また、盲導犬と聞いて思い浮かべたことを入力するように伝える。</li> <li>・盲導犬について実際に知ることができる機会があることを伝え、本時では自分なりの問いをもつことをおさえる。</li> <li>・考えた問いはふせんに書くことや、お互い読み合えるようにするためにグループのワークシートに貼っていくことを伝える。</li> <li>・盲導犬について知っていることを整理したあとに問いのもとをそれぞれに提示することで、既存の知識とのずれが生じ、新たな問いがもてるようにする。</li> </ul> <p>○児童Aに対して、考えたことを話しながら一緒に確認し、「○○かな。」という問いの文章にできるよう支援する。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評)</p> <p>盲導犬について疑問に思ったことや調べたことを問いとして書き表している。 (発言・観察・ワークシート)</p> <p><b>【目標を達成した児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盲導犬がいて一番良かったことは何かな。</li> <li>・盲導犬は少ないけれど、どんなきっかけで盲導犬を利用することになったのかな。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[児童のつまずきへの手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、いつ、などの5W1Hを用いることで問いづくりができるようにする。</li> </ul> <p>[できる児童への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決できそうな問いは、タブレットPCで調べさせる。</li> </ul> </div> <p>☆自分が考えた問いを発表し合うときは、うなずきながら最後まで聞くように伝える。 (共感的な人間関係)</p> <p>☆タブレットに入力された問いを読み、共感したものには「いいね!」を押し、リアクションするように伝える。 (自己存在感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で考えた問いを、実際に体験したり質問したりすることによって解決することを伝え、次時への意欲をもたせる。</li> </ul>

## 1 単元名 ぐんぐんそだてわたしの野さい

## 2 本単元の目標

- 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。(知識及び技能)
- 植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとする事ができる。(学びに向かう力、人間性等)

## 3 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を育てる活動を通して、育てている野菜が生命をもち成長していることや、それぞれの野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。</li> <li>・野菜の適切な世話をできるようになった自分自身の成長に気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を育てる活動を通して、育てている野菜の変化や成長の様子に関心をもって世話をしている。</li> <li>・野菜の変化や成長の様子、世話をした気付いたことを、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に応じて、世話をしようとしている。</li> <li>・野菜を育てる活動を通して、自分の育てている野菜へ親しみをもち、大切にしようとしている。</li> </ul>

## 4 単元について

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編内容(7)「動植物の飼育・栽培」を受けて設定されている。野菜を育てる活動を通して、育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働き掛けることができ、生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、野菜へ親しみをもち、大切にすることをねらいとしている。

児童の実態調査 (26名 5月22日実施)	
質問事項	回答
1 野菜を育てたことがありますか。	ある(20名) ない(6名)
2 1であると答えた人は、誰と育てましたか。(複数回答可)	おうちの人と(15名) 祖父母と(5名)
2 野菜を育てるのに必要なものは何ですか。(複数回答可)	苗(種)(21名) 水(17名) 土(14名) 肥料(9名) 植木鉢(2名) 日光(1名)
3 野菜の育て方に困ったらどうしたいですか。(複数回答可)	おうちの人に聞く(12名) 本で調べる(12名) 育てている人に聞く(3名)

本学級の児童は、1年生の生活科の授業でアサガオやチューリップを育てている。また、家族と野菜を育てた経験をもとにアンケートに回答した児童が多く見られる。「野菜を育てるのに必要なものは何ですか。」という質問に対して、「水」や「土」などと回答し、基本的な育て方を理解していることが分かる。「野菜の育て方に困ったらどうしたいですか」という質問に対して、様々な方法を考えている。また、事前に行った育てたい野菜調べでは、たくさんの野菜の名前が出てきたことから、野菜の栽培活動に対する関心は高いと考えられる。

そこで、学級花壇や個人の鉢植えを利用して、エダマメ、キュウリ、サツマイモ、トウモロコシ、ミニトマトなどの野菜を育てることとした。野菜の日々の世話や観察などの体験学習と、成長を伝え合う学習、野菜に合った必要な世話を考える学習を積み重ねていく。この3つの活動を通して、分かったことを自分なりに表現することを目指す。そのため、さらによりよく育てるための工夫を考え実践するうえで、育てている野菜へ親しみをもちたいようにしたい。本単元では、野菜により親しみをもちることができるよう、単元の導入で、子どもたちが野菜を決めたり、名前を付けたりする活動を設定する。成長を可視化するためにタブレット PC を用いて、写真を撮影し、成長の記録を蓄積していく。野菜の成長の過程を見比べ、成長を話し合う活動を通して、必要な世話に気付き、よりよく育てるための工夫を考えられるようにすることで主体性を育てていく。

5 単元の指導・評価計画(10時間扱い) ○指導に生かす評価場面 ◎記録に残す評価場面

第1次	野さいをそだてよう	2時間
第2次	野さいの世話をしよう	3時間
第3次	野さいのようすをつたえよう	2時間

時	学習内容・活動	観 点			評価規準(評価方法)
		知	思	態	
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てている野菜の様子や世話の仕方について話し合う。</li> <li>自分の野菜の世話に生かせることを考える。</li> </ul>	○	◎		<p>知：異なる野菜にも、同じような特徴や性質があることに気付くために、同じところと違うところを書き入れることができる。 (ワークシート)</p> <p>思：友達から聞いた野菜の世話の仕方から、自分にもできそうな新しい世話の仕方を選び、方法を決めることができる。 (机間指導・ワークシート)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に話し合ったことをもとに、気付いたことを友達と話し合う。</li> </ul>	◎			<p>知：異なる野菜にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。 (発表・ワークシート)</p>

第4次 野さいをしゅうかくしよう 3時間

6 本時の指導

(1) 目 標

○ 友達から聞いた野菜の世話の仕方から、自分にもできそうな新しい世話の仕方を選び、方法を決めることができる。  
(思考力、表現力、判断力等)

(2) 準備・資料

ワークシート、タブレットPC、モニター

(3) 展開 [授業UD化の視点]

○指導に生かす評価 (評)記録に残す評価

学 習 内 容 ・ 活 動	指 導 上 の 留 意 点 、 評 価
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>やさいが元気にそだつようにするには、どうすればよいだろうか。あたらしい世話を考えよう。</p> </div> <p>2 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いつもしている世話について話し合う。</li> <li>タブレットPCを用いて、今までに撮影した写真を見返す。</li> <li>世話をする前後での野菜の変化をワークシートに記入する。</li> </ul> <p>3 野菜の世話の仕方と成長を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループになり、タブレットPCを見せ合いながら、野菜の世話の仕方と成長を友達に伝える。 (予想される児童の発言例)</li> <li>おうちの人に聞きました。支柱を立てるといいと言っていました。</li> <li>本で調べました。肥料をまくといいと書いてありました。トウモロコシの葉っぱが元気になってきました。</li> <li>目黒先生に聞きました。草引きをするといいと言っていました。草引きをしたら、キュウリの葉っぱが大きくなりました。</li> <li>発表を聞いて、ワークシート(資料1)に友達の野菜の世話の仕方を書く。</li> </ul>	<p>【共有化】育てている野菜について話すことで、活動への意欲をもたせる。 ①ミニトマト ②エダマメ ③キュウリ ④サツマイモ ⑤トウモロコシ</p> <p>【視覚化】野菜の写真モニターに提示する。 ・本時のめあてを確認する。</p> <p>【共有化】毎日している世話を思い出すことができるよう、種や苗を植えてから育つまでの様子を話し合うよう伝える。 ・タブレットPCで撮影した写真を見比べて、世話をする前後の変化を見付けるように声掛けをする。</p> <p>【視覚化】野菜の成長を見て分かるように、撮影した写真を拡大するように伝える。 ・事前に様々な方法で世話の仕方を調べ、ワークシートに記入させておく。 (おうちの人に聞く、本やタブレットPCで調べる、用務員の先生に聞く)</p> <p>・友達にタブレットPCを見せ、自分の野菜の世話の仕方と成長を説明するように促す。</p> <p>【構造化】異なる野菜にも、同じような特徴や性質があることに気付かせるために、同じところと違うところを書くよう促す。</p> <p>・活動がなかなか進まない児童には、前回のワークシートを見ると、世話の仕方が分かることを助言する。</p>

- 4 友達の考えを聞いて、自分の野菜にも使えそうな世話の仕方を考える。  
 ・ワークシートを見たり、友達と話したりする。
- 5 個人でまとめをする。
- やさいが元気にそだつように、  
 ( ) したい。
- ・友達の発表をもとにワークシートに記入する。
- 6 学習を振り返る。  
 ・個人のまとめをペアや全体で共有する。

**【視覚化】**可視化して分かりやすくするため、野菜の葉や茎が元気に育っている児童の写真モニターに映す。  
 ・どのような世話をしたら、野菜が元気に育つのかを分かりやすく説明できるように声を掛ける。

**【焦点化】**まとめをシンプルにし、次回からの活動をはっきりさせる。  
 (評)友達から聞いた野菜の世話の仕方から、自分の野菜にも使えそうな世話の仕方を選び、方法を決めることができる。  
 (思考力、判断力、表現力等)  
**【机間指導・ワークシート】**

**【目標を達成した児童生徒の姿】**  
 ・友達から聞いた野菜の世話の仕方から、自分にもできそうな新しい世話の仕方を選び、方法を決めてワークシートに書くことができる。

・今日の学習で、学んだことや楽しかったことをペアで話し合ったり、発表したりするように伝える。

〈資料1〉ワークシート

ぐんぐん そだて わたしのやさい ②

( ) ぼん 名前( )

② やさいが( )にそだつように、グループでやさいのようすをつたえ合って、自分にもできる新しい世話を考えよう。

つたえ方

---

友だちの世話

友だちの名前	しらべ方	せいちょう

③ やさいが( )にそだつように、  
 ( ) したい。

- ・児童らの願いを聞き、( 元気 ) と記入した。
  - ・事前に様々な方法で世話の仕方を調べ、ワークシートに記入した。
- (児童の発言)
- ・雨の日は、建物の下に鉢植えを動かすと枯れなかった。
  - ・肥料をあげると、葉っぱが大きくなった。
  - ・砂糖水をやると背丈が大きくなった。
  - ・草引きをすると、葉っぱが大きくなった。
- (児童のまとめ例)
- ・雨の日は、鉢植えを動かしたい。
  - ・肥料をあげたい。

1 単元名 「郷土『日立』」日立を知ろう

2 目標

- (1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に係わる概念を形成し、探求的な学習の良さを理解することができる。 (知識及び技能)
- (2) 実社会や実生活の中から問を見だし、自分で課題を建て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (思考力、判断力、表現力など)
- (3) 探求的な学習に主体的・共同的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会参画しようとするすることができる。 (学びに向かう力、人間性など)

3 単元展開の構想

(1) 単元について

本校の1学年の総合的な学習の時間では「郷土『日立』」をテーマに、自分たちの暮らしているこの日立市について調べ、まとめ、発表する学習に取り組んでいる。1学期には心ゆたかな体験学習で、動物園やシビックセンターの見学をし、きららの里に宿泊することで、日立市のよさに触れたり、お互いを認め合ったりすることができた。2学年では「職場体験学習」という単元名で、「体験活動や様々な人との関わりの中で、協調して生きることの大切さを実感し、自己のあり方を考えることができる力の育成」を目指している。3年生は、総合的な学習の総まとめとして、偉人の名言から今後の生き方を考え、それらを卒業文集にまとめる活動を行う。

地域との関わりなども希薄になってきた。総合的な学習の時間をはじめとして意図的に、様々な人たちと触れ合う体験活動を大切にしたい。具体的な体験活動の一つは、キャリア教育と関連させた職場体験である。地域で様々な生き方をしている人の話を聞いたり、様々な職場で信念や情熱をもって働く人の話を聞いたりすることで、様々な生き方があることに気づくことができるだろう。

本単元では、人との関わりにおいて課題を設定し、体験活動を核として「生き方」に目を向けることで、自己の生き方を考え、よりよく生きようとする態度を身につけることができるように支援したい。

(2) 学年の実態

明るく素直な生徒が多い。与えられた課題にはまじめに取り組むこともできる。だが互いに認め合う関係づくりが苦手だったり、目先のことにこだわりすぎて、将来を見通して今努力することができなったりするなど、教科の学習だけで補うことができない力が不足していると感じる生徒が見られる。また、自分の意見をまとめて発表したり、自ら課題を考えたりすることが苦手な生徒が多い。

総合的な学習の時間としては、学年の実態を踏まえ、何のために意見や考えを発表するのかという目的意識を明確にもたせることで、コミュニケーション能力を育てたい。さらに、情報交換を通して自分を振り返り、自己の生き方を考える中でテーマを再検討させていきたい。

4 学習活動と評価の計画（15時間扱い）

過程	学習活動	観点別評価		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力など	学びに向かう力、人間性など
つかむ・見通す(1)	学習のねらいと方法を知る。 ・ガイダンス ・ひたち郷土カルタ大会 ・地域に学ぶ		・自ら課題を見つけて意欲的に取り組むことができる。 (観察・ワークシート)	・学習・体験から得られたものをもとに、テーマを設定することができる。 (観察・ワークシート)
課題に取	各自のテーマ追求	・日立の文化や歴史などを意欲的に調べ、イ	・様々な体験活動から得られる情報を目的に応じて	・体験学習を通して様々な人と意欲的に接しよう

り組 む  (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き方について学ぶ。</li> <li>・テーマ決定</li> <li>・テーマの再検討</li> </ul>	<p>ンターネットなどを活用して調べることができる (観察)</p> <p>・計画に従って課題を追求することができる。(観察)</p>	<p>取捨選択し課題追求をすることができる。(観察)</p> <p>・活動の中から新たな課題を発見し意欲的に取り組むことができる。(観察)</p>	<p>する。(観察)</p> <p>・体験学習や調べ学習において友達と比較検討をして意欲的に取り組むことができる。(観察)</p> <p>・適切な言葉遣い・礼儀やマナーを実践することができる。(観察)</p>
課題 をま とめ る  (11)	<p>各自のテーマについて自分なりにまとめる。</p> <p>・発表会  (本時④)</p>	<p>・学習活動を適切な方法でまとめることができる。 (観察・記録表)</p>	<p>・他の人のまとめ方、発表の仕方を学び自分のテーマと比較することができる。 (観察・記録表)</p>	<p>・生きる力についての発表にむけて、これまでの蓄積された資料や考え方をもとに様々な方法でまとめることができる。 (観察・記録表)</p>
振り 返る  (1)	活動とテーマについての反省		<p>・生き方について学習したことを今後の生活に生かすことができる。(観察・記録表)</p>	<p>・人との交流で学んだことを今後の生活に生かすことができる。(観察)</p>

## 5 本時の活動

(1) 目標 自分が設定したテーマに沿って、調べることができる。

(2) 準備・資料 プロジェクター、スクリーン

(3) 展開

(学) 学力向上のための学び合い

過程	学 習 活 動	資 料	支援の手だて(・)と評価(方法)
は じ め の 活 動	<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の設定したテーマに沿って郷土日立を調べ、まとめをしよう。</p> </div>	各自の制作物	<p>○本時に行う活動をホワイトボードに掲示することで、意欲を持って取り組むことができるようにする。</p> <p>○パソコンは事前に立ち上げておく。</p> <p>○文書作成に関するスキルとモラルを確認する。 T1：前に立ち、リードする。</p>
活 動 の 中 心	<p>2 文書作成ソフト(ワード)を使って、自分のテーマについてのまとめをする。</p> <p>テーマはひたち郷土カルタから 日立市の特産物 日立市の歴史 日立市の有名人 日立市の名所 など</p> <p><u>まとめ方、まとめる観点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そこで働く人や関わる人、</li> <li>・過去、現在、未来</li> <li>・いいところや課題点</li> <li>・家族にインタビュー</li> </ul>	各自の制作物  ホームページ	<p>○何を伝えたいかという目的を忘れないように個別指導をしていく。</p> <p>○写真や画像の貼り付け方や保存の仕方、リンクの張り方など、パソコン操作がうまくできない生徒には個別で支援する。</p> <p>○まとめ方がわからない生徒のために社会科自由研究の作品を例示する。 (学) パソコン操作には個人差があるので、お互いが教え合うことで学び合いを深めたい。 T2：作業が遅れている生徒に支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評(知識及び技能)自分が設定したテーマに沿って、調べることができたか。(観察)</p> </div>
ま と め	3 本時の学習を反省する。		<p>・本時の活動を振り返り、今後の活動に意欲がもてるように働きかける。</p>

1 単元名 職場体験学習

2 本単元の目標

- (1) 職場体験学習を通して、働くことの意味が収入を得るだけでなく、自分自身や他者、地域のためになっていることを理解することができる。 (知識及び技能)
- (2) 職場体験学習の内容を整理し、自分の考えや感じたことをまとめ、他者に適切な方法で表現して伝え合うことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 職場体験学習で得た学びを基に、仕事と自分との関わりに関心をもち、働くことの意味や自己のよりよい生き方について考えを深めようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知①職場体験学習を通して、働くことの意味が収入を得るだけでなく、自分自身や他者、地域のためになっていることを理解している。</p> <p>技①表現方法を工夫して、他者に自分の考えを分かりやすく簡潔に伝えることができる。</p>	<p>思①職業について調べたことや職場体験学習の内容を整理して、自分の考えや感じたことをまとめ、他者に適切な方法で表現したり、働くことの意味に対して自分の考えを深めたり、他者に適切な方法で表現したりしている。</p>	<p>態①職場体験学習で得た学びを基に仕事と自分との関わりに関心をもち、働くことの意味や自己のよりよい生き方について考えを深めようとしている。</p>

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領特別活動の内容「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」に位置づけられている。そのうち、職場体験学習は「イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」において、社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することをねらいとしている。

(2) 生徒観

(7月19日調査 在籍34名)

1	将来、何かしらの職業や仕事に就いて働きたいと思う。	
	・ はい 21名	・ 無回答 13名
2	将来、就きたい職業や仕事が決まっている。	
	・ 決まっている 4名	・ どちらかといえば決まっている 7名
	・ どちらかといえば決まっていない 7名	・ 決まっていない 3名
		・ 無回答 13名
3	今勉強していることは、将来の職業や仕事に役立つと思う	
	・ そう思う 13名	・ どちらかといえばそう思う 5名
	・ どちらかといえばそう思わない 2名	・ そう思わない 2名
		・ 無回答 13名
4	「働くこと」とはどういうことか。あなたの意見を入力してください。(一部抜粋)	
	・ 生活するために必要なこと	・ お金を稼ぐこと
		・ 社会に貢献していくこと
8	人はなぜ働くのでしょうか。あなたの意見を入力してください。(一部抜粋)	
	・ お金を稼ぐため	・ 生活するため
		・ 誰かの役にたつため
		・ 世のため

アンケート結果から、本学級の生徒は働く意欲が高いことが分かる。しかし、将来就きたい職業や仕事が決まっている生徒は少ない状態であることが分かる。また働くことについては、お金を稼ぐことや生活していくために必要捉えており、社会の一員としての自覚や、自己の生き方に関わる回答は少なかった。これらの実態から、自分の個性や特性を知り今後の生き方について考えていく力を高めていく必要があると考えた。

(3) 指導観

本単元では、働くことの意義や自分の将来についての考えを深めるために、職場体験学習で実際に学んだことや感じたことを事業所ごとにスライドにまとめ、1年生に発表する交流活動を行う。活動に際しては、タブレットを活用して職場体験学習での情報をまとめたり、作成したプレゼンテーションを他グループと共有し、改善点を話し合ったりすることで、より相手に分かりやすく伝える力を身につけられるようにしていく。また、事前学習における生徒自身の勤労観、職業観と事後の勤労観、職業観の変化を感じさせたり、他者との意見交流をしたりすることを通して働く意味について多面的・多角的な見方や考え方ができるようにしていく。このような手立てによって、自らの生活を見直し、自分の進む進路に対して必要な力や課題を自ら発見しながら、職場体験学習での学びを今後の学習や生活に積極的に生かすことができるようにしていきたい。

5 単元の指導計画 (12 時間扱い)

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価 ★対話的活動

次	時	学習活動・内容	知	思	態	指導上の留意点、評価等
1	1	<p>学習課題 今までの自分をふり返り、自分の良さが伝わるエントリーシートを書こう。</p> <p>・好きなこと、得意なことを元に、自分の良さや強みを分かりやすく自己PRに表現する。</p> <p>自分の好きなことや得意なことについて、エントリーシートを書くことができた。</p>				<p>○ 態①好きなことや得意なことを挙げ、それらに対して、理由を考えたり共通点を見つけたりして、自己理解を深められるよう助言する。 【トライアルハンドブック、観察】</p>
	2	<p>学習課題 事業所について調べよう。</p> <p>・タブレットを活用し、職場体験学習を行う事業所や職業について仕事内容を調べる。</p> <p>事業所や仕事内容について調べることができた。</p>		○		<p>★個人で調べるだけでなく、事業所ごとにグループで集まり、調べたことを共有する。 思①調べる視点を提示し、必要な情報を取捨選択したり、調べたことを整理したりして分かりやすくまとめることができるよう支援する。 【トライアルハンドブック、観察】</p>
	3	<p>学習課題 職場体験でのマナーを確認しよう。</p> <p>・トライアルハンドブックを用いて、場面ごとのあいさつの仕方やおじぎの仕方、敬語の使い方を確認し、練習する。</p> <p>まとめ 体験を行う際には、適切なあいさつや言葉の使い方が大切である。</p>		○		<p>★個人で練習するだけでなく、事業所ごとにグループで集まり、敬語の使い方やおじぎの角度などをアドバイスしあう。 技①さまざまな場면을提示し、社会人として必要なマナーやスキルを前向きに身につけられるよう支援する。 【トライアルハンドブック、観察】</p>
2	4	<p>学習課題 事前打ち合わせに行こう。</p> <p>・電話でアポイントメントを取り、実際に事業所に行き、時間や体験内容などの打ち合わせを行う。</p>				<p>○ 態①自ら働くことについての課題を見つけ、職場体験学習までにすべきことを整理することができるよう、仕事内</p>

	<p>まとめ 職場体験学習に向けて見通しをもつことができた。</p>		<p>容やその仕事にどのようなスキルが必要か助言する。 【トライアルハンドブック、観察】</p>
5	<p>学習課題 職場体験学習に行こう。</p> <p>・事業所ごとに、2日間の職場体験学習を行う。</p> <p>まとめ 責任をもち、進んで仕事に取り組むことができた。</p>		<p>◎ 態①同じ事業所の生徒や職場の人と積極的に関わり、自分なりの目的をもって職場体験学習に取り組もうとしている。 【トライアルハンドブック、観察】</p>
6 本 時	<p><b>目標</b> 職場体験学習で取り組んだことや、働く中で感じたこと、得た学びなどを分かりやすく整理し、自分の考えを深めることができる。</p> <p>1 「働く」って、どういうこと？ 職場体験学習で学んだことをふり返ろう。</p> <p>・事前アンケートの回答で作成したワードクラウドを見せ、体験前後での働くことに対する考えの変化を尋ねる。</p> <p>2 職場体験学習をふり返る。</p> <p>(1) タブレットを使って整理する</p> <p>・ふきだしくんを使い、職場体験学習で感じたことを以下の視点でふり返る。</p> <p>①嬉しかった、やりがいを感じたこと</p> <p>②大変だった、苦労したこと</p> <p>③頑張ったこと、もっと頑張れたこと</p> <p>④職場の人たちから学んだこと</p> <p>⑤今後の自分に生かしていけること</p> <p>(2) 交流する</p> <p>・ランダムに設定した相手と互いのページにコメントを書き合う。</p> <p>(3) 振り返りを深める。</p> <p>・自分のページについてのコメントを基に、再考する。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>まとめ 働くこととはお金を稼ぐだけでなく、自分の目標や夢を叶える手段でもあった。</p> <p>5 本時の振り返り、次時の課題を確認する。</p>		<p>・事前アンケートの「働くこととはどういうことか」「なぜ人は働くのか」の回答でワードクラウドを見せ、考えの変化に目を向けやすいようにする。</p> <p>・視点を提示し、何についてふり返るのか明確にする。</p> <p>・思うように意見を出せていない生徒には、まず大まかに記入させてから、どのような活動や体験が印象に残っているか、それはなぜかなど問いかけ、具体的に振り返りができるように支援する。</p> <p>★個人ページで自分自身について振り返り、その後ランダムに設定した相手とお互いのページを見ながら意見を交換し合い、考えを深める。</p> <p>・黒板に「これはいつ・だれが・どういふときのことか」「何がきっかけでそう感じたのか」など、考えを深められるような問いをコメントで書き合う。</p> <p>・振り返りを基に、「働くこととはどういうことか」という問いを再考する。</p> <p>思①職場体験学習で得た学びを基に、働くことの意味に対して自分の考えを深めることができる。【ふきだしくん】</p> <p>ワークシートへの記述 (例)働くこととは、生活のためにお金を稼ぐだけではなく、他者や地域のために自分の力を使ったり、自分にできることを最大限行ったりすることだと思う。</p>

7 8	<p>学習課題 職場体験学習の学びをスライドにまとめよう。</p> <p>・事業所ごとに集まり、職場体験学習の仕事内容や体験を通して感じたこと、学んだことをスライドにまとめる。</p> <p>まとめ 構成や表現を工夫してスライドを作ることができた。</p>		○	<p>思①作業が進まない生徒には、スライドの構成や内容について参考例を黒板に提示したり、ウェビングマップを活用したりして、分かりやすいスライドが作れるよう支援する。 【パワーポイント、観察】</p>
10	<p>学習課題 中間報告会をしよう。</p> <p>・2、3つの事業所でお互いにプレゼンを発表し、アドバイスし合う</p> <p>まとめ スライドを作る際は、写真に分かりやすい見出しや、簡潔な説明の方が分かりやすい。</p>		○	<p>技①レイアウト・発表の順番・一番伝えたいところはどこか、という3つをアドバイスの視点として助言する。 【観察】</p>
11	<p>学習課題 スライドを改良しよう。</p> <p>・中間報告会でのアドバイスを踏まえてスライドを修正する。</p> <p>まとめ 発表の順番やレイアウトなどを工夫して改良することができた。</p>		◎	<p>思①アドバイスを基に、情報を整理したりレイアウトを変更したりして、スライドを分かりやすく修正している。 【パワーポイント、観察】</p>
12	<p>学習課題 職場体験学習の学びを1年生に伝えよう。</p> <p>・2、3つの事業所でグループを作り、1年生に職場体験学習での学びを発表する。</p> <p>まとめ 発表をするときは、声のトーンや緩急だけでなく、聞く人の反応も見ながら話す方がより相手に伝えることができる。</p>		◎	<p>技①声のトーンやジェスチャーなど、表現方法を工夫して、他者に自分の考えを分かりやすく簡潔に伝えることができる。 【観察、プレゼンテーション】</p>

テーマ	未来を拓く力を育む生活科・総合的な学習の時間の創造
-----	---------------------------

1 単元名 心ゆたかな体験学習の行程を考えよう

2 単元について

1年生の総合的な学習の時間の探求課題は「地域や人を知ろう」である。1学期に自分たちが住む日立市の魅力について改めて調べる学習を行い、2学期の「心ゆたかな体験学習+」で実際に日立市内を巡り、郷土の良さを再確認する。そして3学期に、これまでに再確認してきた日立市の魅力をお互いに発信しあう発表会を行い、これまでの学習のまとめを行う。

当該学年は生徒数が女子4名と極めて少ないため、大人数を前にしての発表会のような場の設定が難しい現状がある。半面、4人の仲が良好であるため、グループ活動など、近い距離間での話し合い活動や意見発表がやりやすく、意思疎通しやすい。

そのため、今回の授業では探求課題である「地域や人を知ろう」に沿って、それぞれが調べてきた日立市の魅力を直に感じられるよう、通常であれば教師主導で決定する旅行の行程を生徒自身に考えさせていく。出発時刻や到着時刻、バスで行くことのできる範囲など制限は多いが、その制限の中で最適な行程を考え、見学地や所要時間などを話し合い活動を通して決定していくことで、情報の取捨選択の能力や、発信力・表現力の向上を図りたい。

3 目標

- 心ゆたかな体験学習の課題追究をもとに地域を見つめ直し、課題を設定することができる。
- 自分で設定した課題に対して、必要な情報を集め、調査活動をしなが、課題を追究することができる。
- 調査した内容や集めた情報を分かりやすくまとめ、発表することができる。

4 指導と評価の計画（40時間扱い）

○は本時

- 第1次 課題決定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- 第2次 情報収集・調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間
- 第3次 体験学習・実地研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20時間

時	主な学習活動・内容	評価規準（評価方法）
○ 1～4 5～8	心ゆたかな体験学習の準備をしよう ・日立市内で巡るスポットを選定し、日立市内巡りの行程を考える ・宿泊の役割を決める	・話し合いに積極的に参加し、体験学習の行程を組んだり、役割を決めたりしようとしている。（観察・ワークシート）
9～20	心ゆたかな体験学習に出かけよう	・自らの役割を全うし、お互いに協力して生活しながら、日立市の魅力を確認し、体験学習を成功させようとしている。（観察・自己評価）

- 第4次 まとめ・発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10時間

5 本時の指導（4時間扱い）

(1) 目標

- 話し合い活動に積極的に参加し、日立市の魅力を確認できる見学場所を選定し、当日の行程を考えることができる。

(2) 準備・資料

タブレットPC、電子黒板、調べ学習記録用紙、バス配車時刻表、筆記用具

(3) 展開

(評) 評価の規準

学 習 活 動 ・ 内 容	支援・指導上の留意点（評価）
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">心ゆたかな体験学習の行程を考えよう。</div> <p>2 見学場所を選出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで調べた日立市についての学習から、実際に見学・体験する市内の施設等を出し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・かみね動物園</li> <li style="width: 50%;">・日立駅</li> <li style="width: 50%;">・郷土博物館</li> <li style="width: 50%;">・吉田正記念館</li> <li style="width: 50%;">・十王ダム</li> <li style="width: 50%;">・日立港 など</li> </ul> </div> <p>3 見学場所を選定し、行程を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動を行い、見学場所や順序・見学時間を考え、行程を決める。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの内容を行程表に反映させ、全員で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに調べた日立市についての内容と関連した体験学習にできるよう、話し合いながら行程を決めていくことを伝える。</li> <li>前回まで行った日立市についての調べ学習の記録用紙を見返しながら、見学候補地を自由に出し合わせることで、前回までの学習内容を生かせるようにする。</li> <li>出し合った見学候補地は、タブレットPCを用いて記録し、次の行程検討に利用できるようにする。</li> <li>タブレットPCを用い、まなびポケットの「発表ノート」機能を利用して、見学場所や順序を入れ替えながら決めるよう指示することで、学習の効率化を図る。</li> <li>バスの出発時刻や、利用する宿舎への到着時刻は変えられないため、限られた時間内で見学できるよう行程を考えさせる。</li> <li>できるだけそれぞれが調べ、選出した見学候補地が入れられるよう配慮できるよう声かけを行う。</li> </ul>
<p>4 本時のまとめと必要な準備の確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作成した行程表を用いて、当日の流れを確認する。</li> <li>次回以降準備が必要な項目を列挙し、全員で確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食、朝食のメニューと係分担</li> <li>・各見学場所の見学ポイント</li> <li>・宿舎での活動内容</li> <li>・持ち物</li> </ul> </div>	<p>(評) 話し合いに積極的に参加し、体験学習の行程を組もうとしている。（観察・ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無理のない行程になっているか考えながら確認できるように声かけを行う。</li> <li>今回決めた行程の中で、決まっていない事柄を考えることで、次時の学習課題を意識できるようにする。</li> </ul>

教科研究課題	自己の生き方を高めるための「総合的な学習の時間」の編成と運営の研究 ～他者との関わりの中で自己の生き方を考える体験活動～
--------	---

1 単元名 職場体験の振り返りをしよう

2 目標

- (1) 社会的マナーや世界遺産などの一般教養を身につけることができる。 (知識及び技能)
- (2) 世界的観光地と地元の違いを理解し、住みよいまちづくりを考えるきっかけにつなげることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 他者の考えを理解しながらも、協働して課題解決に取り組もうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 単元観

修学旅行は、中学校生活において大きな行事の一つである。ただ楽しく観光して終えるのではなく、日常生活に関係の深い施設や公共物等の利用の仕方を身に付けたり、社会人としてのマナーの向上、自立心、向上心など、生徒の自立的な生活に結びつく力を育むことを目指している。また、学習指導要領の総合的な学習の時間の目標(3)では、「探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。」と記されていることから、修学旅行を通して発見した京都や奈良の街の特徴を地元の日立市と比較することで、SDGsの11「住み続けられるまちづくりを」について考えるきっかけにもつなげていけるように活用していきたいと考えた。

(2) 生徒観 修学旅行事後アンケート (令和5年6月8日 実施 男15名女15名計30名)

1 修学旅行は楽しかったか。 ア 楽しかった 26名 イ 勉強になった 2名 ウ もっと見たい(知りたい) 2名 エ 学ぶものはなかった 0名 オ もう行きたくない 0名
2 今回の修学旅行で印象に残った場所はどこか。(自由記述) 伏見稲荷神社、清水寺、金閣寺、銀閣寺、北野天満宮、興福寺、東寺、二条城、京都駅
3 自分たちの地元(茨城・日立)と比較して何か違いはあったか。 ア 違いはあった 29名 イ あんまり違いはなかった 1名 ウ 全然違いはなかった 0名 エ むしろ地元の方が良かった 0名
4 3で答えた理由。(自由記述) 世界遺産を所有しながらの街の雰囲気や景観の良さ、文化の違い、交通インフラの整備 駅の広さ、ビルの多さ、看板の色合い、街の歴史 ほか

本学級の生徒は、男女分け隔てなく協調性をもって学校生活に取り組むことができている。今回のアンケートでは、修学旅行を振り返り、特に印象に残った名所はどこかを聞いてみた。その結果、金閣寺や清水寺など世界遺産に登録されている寺社仏閣の名所が多く挙がった。また、地元地域との違いを比較したことで、本学級の生徒は世界遺産の偉大さを理解できていることが分かる。本時の授業では、この結果を生かしてまちづくりを考えるきっかけにつながるような展開を目指していきたい。

(3) 指導観

本校では現在、ICTを積極的に活用した授業づくりに力を入れている。本単元でも、修学旅行のまとめ学習にタブレットを用いた新聞形式のレポートの作成や、発表や振り返りにはExcelやFormsの活用を行っていく。本時は発表の時間に該当し、自分でまとめたことや友人の発表を聞いたことで発見した「地元と観光地の違い」を今後の探究的な学習につながるきっかけにしていくことを目指して実践したい。

4 指導と評価の計画 (全20時間)

時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
〈事前〉	・オリエンテーション	・修学旅行の目的を理解し、意欲的に準備に取

1～9	修学旅行の日程や目的の説明 ・修学旅行の計画 班別活動の計画や見学地の選別 ・事前指導 公共機関のマナーの確認	り組もうとしている。 (課題発見・解決能力：観察・ワークシート) ・ICTを活用して、見学地の選別や計画の話し合いを行おうとしている。 (資料収集能力・表現力：観察・ワークシート)
〈事中〉 10～17	・修学旅行の実施 これまで調べてきたことを基に、活動に臨む	・計画に沿った活動を実施しようとしている。 (課題発見・解決能力：観察・しおり) ・他者と協働して課題解決に取り組もうとしている。 (自己の生き方：観察・活動)
〈事後〉 18～20	・修学旅行のまとめ 写真や資料を用いて、体験したことや経験を新聞形式でまとめる ・まとめの発表 (本時 20/20 時) まとめた内容を発表し、まちづくりを考えるきっかけにする。	・体験したことをわかりやすくまとめようとしている。 (資料収集能力・表現力：観察・ワークシート) ・まとめたことをわかりやすく発表の工夫をしている。 (資料収集能力・表現力：観察・発表) ・発表を聞いて、住みよいまちづくりについて考えようとしている。 (課題発見・解決能力：観察・ワークシート)

## 5 本時の学習

### (1) 目標

- ・地元と名所との違いに気づき、まちづくりのアイデアをわかりやすく伝えようとしている。  
(思考力、判断力、表現力)

### (2) 準備・資料

- ・タブレット PC ・大型モニター、ワークシート、振り返りシート

### (3) 展開

学習活動・内容	活動場所 形態	教師の働きかけ ※評価 ◎個に応じた支援
1 本時の課題を発表する。 発表。 ・生活班になり、班内で行う発表の準備。 ・発表を行う際の注意点を確認する。	教室  一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動の流れを確認し、見通しを持たせる。</li> <li>・お互い気持ちよく発表に臨める雰囲気作りのために、発表時の約束を確認する。</li> </ul>
2 班内で発表する。 ・発表時間は一人2分で行う。 ・発表を聞き終えたら、感想を Teams から入力する。 ・感想の中での良い意見は、最後に全体で共有する。 ・班内での発表が終わったら、感想をまとめておく。	グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合によってうまくパソコンが起動しない生徒には、予備のパソコンを渡す。</li> <li>・発表時間を管理し、時間内で済ませるように指導する。</li> <li>◎入力は後からでも出来るので、メモをとるように助言する。</li> <li>・良い意見は Exel の vlookup 関数を使い、全体に共有できるようにする。</li> </ul>
3 発表内容を振り返りながら、住みよいまちづくりにつながるヒントを探す。 ・はじめは個人で考えて、気付いた内容をグループや学級でも共有し、確認する。 ・世界遺産の登録以外に、自分たちには何ができるのかを考える。 ・パンフレットやポスターの存在に気付く。	個別  グループ  一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果を引用し、まちづくりのヒントに生かすよう指導する。</li> <li>◎京都や奈良にはどんな特徴があったかを思い出すようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           ※京都や奈良の魅力を理解し、まちづくりの参考に活用することができたか。            (ワークシート、振り返りアンケート)         </div>
4 本時の振り返りを行い、今後の活動の内容を確認する。 ・振り返りは Forms を活用して行う。 ・課題探究はこれからも続いていくことを説明する。	個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Forms に自己評価と振り返りを記入する事で本時のまとめができるようにする。</li> <li>・授業の中で発見できたことを将来の課題に繋げていくよう指導する。</li> </ul>

## 第2学年2組 総合的な学習の時間指導案

日立市立河原子中学校

### 1 単元名 生き方について考えよう

### 2 単元の目標

- 様々な体験学習を通して、自ら課題を見つけ、意欲的に研究するとともに、目的に応じて手法や方法を考え、課題を追求することができる。(活動し追求する力)
- 様々な体験学習に積極的に参加し、また他者の発表を自己に関連づけて聞くことができる。(関わりあう力)
- 自己評価や相互評価を通して各自が体験活動を振り返り、今後の活動の方向を確かめることができる。(学びを自分に返す力)

### 3 指導にあたって

本単元は、体験活動を通して他者と協調して生きることの大切さを実感し、自己のあり方を考えることができる力を育むことをねらいとした単元である。また、職場体験活動を通して、働くことの意義を学び、労働に対する考え方や理解を深めることを目標としている。

本学級の生徒は、アンケートを見ると、「働く」ことの意義や、職場体験学習で学びたいことについては考えられている生徒が多い。しかし、就きたい仕事の項目では具体的に書けた生徒が少ない。

職業、職場体験学習に関するアンケート（5月15日調査 19人）

	質問内容	具体的に書けている	曖昧ながら書けている	書けていない
1	あなたが考える「仕事」とは？	14人	5人	0人
2	あなたの就きたい仕事は何ですか？	11人	3人	5人
3	職場体験でどのような体験をすべきだと思いますか？	15人	3人	1人

そこで本時は、職場体験学習でお世話になる事業所での振る舞いや対応を練習する活動を通して、よりよい人との関わり方について探究するとともに、職場体験学習や「働く」ことへの意識や興味をさらに高められるようにしたい。

### 4 指導計画(30時間) 時間の○は本時

1次 「仕事」について調べ、「働くということ」について考える。…………… 4時間

2次 「仕事」を体験し、自分の考えをまとめる。…………… 15時間

時	主な学習活動・内容	主な評価規準
1	事務所への電話のかけ方を学び、練習する。	意見交換を通して、電話での適切な話し方を、身につけることができる。(観察・ワークシート)
2,3	事務所へ電話し、打ち合わせの予定を確認する。	電話での適切な話し方や対応を実践できる。(観察)
4	事務所へ行き、職場体験当日の日程や持ち物について担当の方に確認する。	事前打ち合わせでの適切な話し方や対応を実践できる。(観察・ワークシート)
⑤	ロールプレイを行い、事務所での活動の予行練習を行う。	意見交換を通して、職業体験学習での適切な話し方や対応を考えることができる。(観察・ワークシート)
6~15	職場体験学習	事務所での活動を通して「働く」ことの意味を考え、自分の将来を見つめ直すことができる。(観察・ワークシート)

3次 「働くということ」について、自らの考えを伝える。…………… 10時間

4次 自分の将来を見つめる。…………… 1時間

## 5 本時の目標

- (1) 目標
  - ・職場体験学習のロールプレイを通して、適切な話し方や対応を考えることができる。
- (2) 準備・資料
  - ・ワークシート ・ホワイトボード
- (3) 本時における練り上げの視点
  - ・前時までの学習を参考に、適切な話し方や話す内容を吟味し、実践する。
  - ・グループ内で役割を分担することで、グループ学習での意見交換の充実を図る。
- (4) 展開

学習活動・内容	形態・資料	指導上の留意点（※指導の工夫、○学び合い）	
		T1	T2
<b>1 前時を振り返る。</b> ・職場体験学習でのマナーについて大切なことを振り返る。 <b>2 本時の学習課題をつかむ。</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         職場体験学習に向けて、予行練習をすることで、状況に応じて対応する力を身に付けよう。                     </div>	一斉  一斉	・挨拶、お辞儀、話し方の中で大切なことは何かを振り返り、相手に失礼がないように意識することが大切だということを全体で確認する。 ・職場体験学習が近いことを考慮し、グループで協力しながら、真剣に活動に取り組むように声をかける。	・机間指導で振り返りができていない生徒へ、声かけを行う。 ・挨拶やお辞儀がよくできている生徒を指名し、全体の前でお手本として実演してもらう。 ・机間指導で、注意点を考えられない生徒へ補助的な発問を行う。
<b>3 場面設定に応じたロールプレイを実践する。</b> (1) 職場での注意点について考える。 (2) 職場での注意点を共有する。 ・言葉遣い ・表情 ・適切な声量 (3) 役割を分担し、ロールプレイを実践する。 ・事業所に行って最初の自己紹介 ・分からないことをお客様に聞かれたときの対応 (4) 実践を振り返り、気付いたことを話し合う。 (5) 各班で気付いたことを、全体で共有する。	個人  グループ  グループ  グループ  全体	※関連した職種ごとのグループに分かれることで、観察者も「自分だったらどうするか」を考えられる場面を作り、考えを共有することで新しい気付きとする。	○生徒、事業所の人、観察者等に分かれて予行練習を行うことで、丁寧な話し方や臨機応変な受け答えができているかを確認するように指示する。 ○役割を交代しながら練習を繰り返し、気付いたことについてその都度改善を図っていくように助言する。
<b>4 本時の内容を振り返り、まとめをする。</b> ・体験先での対応を考えたことで、どんな気付きがあったかをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         ・積極的に挨拶や質問をする。                          ・相手の気持ちを考えて行動する。                     </div>	個人	○ホワイトボードやワークシートを用いてグループの考えをまとめ、学級全体で共有することで新しい考え方や発見へとつながられるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         (評) 意見交換を通して職業体験学習での適切な話し方や対応を考えることができたか。 (観察・ワークシート)                          (活動し探求する力)                     </div>